

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 第3回災害対策研修会が開催されました。

去る平成26年10月13日(月)横浜ワールドポーターズにおきまして「災害対策委員会 第3回災害対策研修会」が開催されました。

東日本大震災から3年半が経ちました。災害時におけるリハビリテーションの役割を検討し整備することが急務とされています。今回はその第3弾として「災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携について」をテーマに「地域防災」をキーワードにした行政とリハビリテーション関連職が連携していくことで出来る地域づくりについて検討することを目的として研修会を開催しました。



講師には神奈川県庁より松下 圭吾氏(神奈川県庁保健福祉局保健医療部 健康危機管理課)、横浜市役所より家田 昌利氏(横浜市役所 健康福祉局 医療政策室)に加え、日本理学療法士協会より梶村 政司氏(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会「JRAT」)をお招きして、神奈川県や横浜市の災害医療支援体制について、県民や市民に対する防災・減災対策について、また梶村先生からは JRAT の取り組みや、災害時における士会組織と行政との関わりについて、今年9月の広島県豪雨土砂災害時に実際に災害リハ支援活動をされた経験も踏まえてお話いただきました。

今回も災害医療における基本コンセプトや災害現場におけるマネージメント、公衆衛生・感染予防に関する知識(スフィア・プロジェクト)やライフラインに関する視点、広域搬送・移動時のリハビリテーション関連職の介入、そして災害時のトイレ問題と多岐に渡る内容で大変学びの多い機会となりました。

今回は台風19号が接近している中、会長、副会長をはじめ、多くの方々にご参加いただきました。一般社団法人神奈川県作業療法士会、神奈川県言語聴覚士会からもご参加いただきました。本当にありがとうございました。着実に神奈川県内における災害リハビリテーション支援ネットワークの基盤が構築されつつあり、地域包括ケアシステムと同様に災害リハビリテーション支援に対する機運も確実に高まってきているように感じました。



11月16日(日)に鎌倉・大船地区災害対策キャラバン、平成27年2月1日(日)には湘南西部地区災害対策キャラバンを開催する予定です。各地域にてさらに具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお願い致します。

(文責：神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次)